

笛吹川水系東沢・鶏冠谷左俣

平成24年9月8～9日

L白土 悟、白土 久美子（記録）

前夜は道の駅みとみで車中泊。普段よりだ
いぶ車の数が少ない。翌週に連休を控えてい
るからか、それとも天気が良いせいかな。
翌朝はひんやりした曇天。林道を歩き、東沢
にかかる吊橋の先から河原に降りる。河原歩
きのあと、看板が付いている鶏冠谷の出合で
沢靴に履き替える。今年は雨が少ないせいで
水量もだいぶ少ない。左に鶏冠尾根へ続く登
山道を見てじきに魚止めの滝。通常は巻くよ
うだけど、水が少ないので直登することに。
夫がリード。左から取り付き、嫌らしいバン
ドをトラバースして、途中カムでランニング
を取ってから水流を浴びながら水流左を越え
た。

10mの逆さくの字滝もネットの記録なん
かよりもかなり水が少なく、残置のシュリン
ゲは水流からだいぶ高い位置にぶら下がって
いた。今回は水流沿いを登れたが、普段なら
厳しそう。



【水の少ない逆さくの字滝】

二俣は日が当たり、気持ちのよいところだ

ったのでしばし休憩。右俣には25mの滝が
見えた。左俣へ入り、小滝をいくつか越える
と一ノ沢が出合う15mの大滝。ここも直登。
右の壁を登り、テラスでハーケンを打ってか
ら水流を横切る。何とか岩を抱えるようにし
て右岸へ。そのままブッシュまで上がり、ク
ラックを登った。途中残置ハーケンが2本打
ってあった。クラックも難しく無理やり攀じ
登るような格好だ。灌木で一度ピッチを切り、
落ち口までのトラバースの間、枝沢を横切る
時に補助ロープで数mくらい懸垂した。見た
目以上に大変だった。

花崗岩のナメ滝が続き、とてもきれいだけ
どところどころ滑りやすい。二ノ沢、三ノ沢
を左に分けると水も減ってくる。コケ蒸して
源頭っぽい雰囲気になってくると足元はガレ
状態。そのうちに樹林帯になり、獣道を上が
ると藪漕ぎ少々で鶏冠尾根に出た。2177
mピークのやや西に出たようだ。

靴を履き換え、あとは鶏冠尾根を上がって
甲武信小屋を目指すだけ。踏み跡はばっちり
だったけど、尾根から西側斜面に降りると倒
木やシャクナゲが生い茂ってところどころ不
明瞭な箇所があった。2時間くらいで縦走路
沿いの木賊山へ出、そのまま甲武信小屋へ。
甲武信小屋には一年に一回は訪れることにし
ている。山小屋の壁にドコモのアンテナが新
設され、ケータイの電波が入るようになって
いた。徳さんの話によると、今年は夕立もほ
とんど来ないらしい。宿泊客は私たち含め4
名だけで、徳さんとゆったり楽しい夜を過ご
した。翌日は5時に起床。久しぶりに山でご
来光を拝んだあと、朝食を食べてゆっくり徳
ちゃん新道経由でみとみへ戻った。